明治卅八年壹月十日 第三種郵便物認可

朝鮮日報

紀元二千五百六十五年
韓暦光武九年
陰暦甲辰一月三拾日

定價 壹ヶ月 金參拾錢 前金ニ非サレバ送付セズ 壹ヶ月ニ付金拾三錢
廣告 一行 五號活字十九字詰 壹行壹日 金拾三錢 五日以上 金七錢 三十日以上 金五錢 特別廣告 金貳拾錢
發行兼編輯人 富生 慶吉
印刷人 [illegible]
韓國釜山港大廳町十二七番地
發行所 朝鮮日報社

●門司特報（三月一日 特派員發）

▲戰地新音（藤本特派の斷片）

▲解氷期近し　戰地一帶本年の如く暖のなる事は從來殆んど其例を見ざる程にて殊に二月中旬より著しく温氣を加へ（露地に滿沙河附川の結氷も漸次薄弱となり昨今溫暖なる日には明かに河水の流るゝを認むる程なれば今後氷上の步行は困難なるものあるべく爲めに從來の徒行地點たりし所は或部分を除くの外は通行に非常の注意を要すべきは勿論なり而して又從來の實例に依れば滿州一帶二月下旬より三月中旬に亙り氣候の暖氣に向ひ溫かき南風の吹き始むると同時に降雪の數量も多きを加ゆる由なるが本年は如何にあるべきかを知らざるも若し果して例年の如くなる時は我軍のお動上頗る有利なるものなるべし

▲敵砲擊の休止　彼我對陣殆んど百有餘日今日に到る迄每夜の如く敵は砲擊を試み殊に昨今は徒らに重砲を亂射して我軍の陣地に迄巨彈を送り居たるが如何にせしか客月廿日過ぎよりて俄然此を亂射中止したり外電はクロパトキン將軍本國に召還せられたりと云ひ又は或る者は是れを事實として而かく敵軍の態度遽かに一變したるにはあらずやと云ふものあるも之等は輕々に信ず可らざるものにして昨今敵軍の策戰一轉せしにはあらざるか但しは連日來亂發の結果彈藥の欠乏を覺へ俄かに之れを節約しつゝあるか其眞疑を確むる事能はざりき

▲迂回運動の中止　黑溝臺會戰の失敗以來夫れにも懲りずミスチエンコ將軍は更に二萬の部下を提げ客月中旬再擧を企てたる由なるも新日來我軍の守備は毫も遺憾なく整理せるが敵は到底其の不可能なるを知りてか最早不敵なる目的を斷念したるもの丶如し

▲陣中の演劇　前線は敵と對峙して寸刻の油斷なきも後方は我警戒を加ふるの要なく故に我將士は種々の遊戲に陣中の鬱を消しつゝあるが余の屬し居たる塚本兵團は猶石る士地柄なる丈け純然たる專門の俳優四拾名あり加ふるに鳴物道具衣裳鬘師等迄も從軍し居たるとて最日來立派なる一座を組織せられ立役あり女形あり種々なる道具立を爲し多くは滑稽に用ゆる俗曲を以て時々演劇の興業せられ非常の喝采を博し居り

▲浦汐の最近狀

（英國汽船ダニアーン號船長談）

▲津輕海峽の危險　ダニアーン號は昨年十一月廿三日カーヂフ炭四千九百噸を搭載しカーヂフ港を出帆し香港に寄港し太平洋を橫ぎり浦汐に着し石炭の陸揚を了り去一月拾六日全港を解纜し揚子江を經由し昨日門司に入港せり其航海中最も恐怖の念に堪へざりしは津輕海峽附近通の際ありき當時日本艦隊○○○艦体を波上僅かに數哩の距離に於て發見せるも我の針路を異にし居りたると天候の都合によりて幸ひにして其の發見する所とならずして無事目的地に達するを得たり

▲露艦二隻　浦汐港内に在りし露國艦体はカチールなるかを知るを得ず何となれば三隻なりしが何れがロシヤ、クロンボイなりしか本船の投錨地點とは非常の距りありしを以て其の之れを知る能はざると共に各艦の破損工事の如きは如何なる程度に迄進捗せしやは秘密に屬する事なれば知るを得ず

▲特航水雷艇　目下浦港に避弋せる潜航水雷艇は其數五隻にして内三隻は佛國式二隻は米國式のものと認めたりし然れども是れが專門家にあらざるよりは而かく精密に査せしにあらざれば確然たる斷定を下す能はざるも左程の誤謬にはあらざるものと信ず

▲浦港の窮狀　浦汐要塞守備等に就き船中にて聞き得たる船長の談に依れば全塞の守備兵は從來數萬の多數なりしもクロパトキン將軍は沙河の會戰後旅順は陷落し士氣益々沮喪するのみならず日本軍は優勢なる上に沙河全線は日々益々增加の傾向ありて到底是れと對抗するを得ざるを以て本國に向け援兵れ派遣を乞ふも單線の西比利亞鐵道は將軍の意を充たすに足るだけの輸送力を有せざれば止むなく浦汐の駐屯軍の過半を割き沙河線に送らしめたり左ればその勢力は削減せられ守備兵の意氣銷沈し戰々兢々として風聲鶴唳に驚かされつゝあり加之に第二第三太平洋艦隊の東亞の海上に游弋するは不可能事なれば彼等は是れが救援は彼等の豫期せざるもの丶如く昨今悲觀に沈みつゝ孤城落日の觀あり云々

慶尚道事情に關する釜山領事館の調査（續）

[illegible]

戰雲錄

[illegible]

小品文

わか書窓（三）　古山生

[illegible]

講談　武勇の譽

本社 井竹 林猿 員速 記

[illegible]

（二） 朝鮮日報 （日刊） 明治三十八年三月五日

朝鮮日報

通信

京城通信（二十八日午前八時）特派員發

▲前大邱觀察使の良治績　前大邱觀察使張承遠留任の事に關しては同地人民等の開書も出て承認せられたる事ある次第なるが該觀察使は已に赴任し且其後任の巳に決定したる今日此れを如何ともす可らずと雖も其の治績の善良なる實に範とすべしと朴公使より內部に照會す。

▲李夏榮の出仕　外部大臣李夏榮は病氣にて出進せざりしが本日より公務を視るに至れりと云ふ

▲伊多利公使の條約督促　伊多利公使モナーチ氏は昨日外部に來りて顧問官スチブンス氏を訪問し金礦合同條約作成を至急に締結せん事を求む

▲スチーブンス氏の宴會　來る五日午後一時顧問官スチーブンス氏は貞洞ソンタク孃の宅にて宴を開き外部大臣以下奏任官を招待すと云ふ

▲官吏改稱　議政府官制改正の結果議政大臣を參政大臣と改稱するに至りたるを以て議政府の大臣を更に敘任し官報にて分布し其他各部院廳長官は依舊同樣なるを以て布告せずと云ふ

▲參政大臣の敘任　參政趙秉鎬は參政大臣に更に敘任したり

▲會員各處に出沒す　淳陽郡の電報によれば會員總に解散せず各地に出沒して民情甚だ搖騷す如何に所置を付くべきかと內部に問合す

▲成業社の業務　成業社長韓某なるもの韓國商業新聞なるものを設置し其の趣旨を英和漢文に翻譯し設計測量製圖及速記地所家屋買賣借貸等を紹介し併せて一般取次をなすと云ふ

▲技師解雇に關する照會　昨日外部佛國西公使より照會して曰く本礦與坑は經費缺乏からずして利益無ければ是非共來月三拾一日までに同技師ビルレー等四人解雇せざるべからず而して一個年分の俸給及賞與金家屋費旅費等は契約により支給するを以て願くは貴公使妥決せられんことを望むと云々と

▲禮服代の請求　外交官大禮服代金一万一千余元は度支部より其支拂を拒絕せしを以て洋服商某は昨日外部に來り該金の支拂はれんことを催促せりと

大邱通信（三月二日 特派員發）

▲一進會の演說

既報昨日開會の事は……

……敢り敢へず電報し置きたる如く一日を以て本日午後一時南門外觀德堂の廣場に於て開會せり之より先き京城本部より十三道總會長李容九評議員長尹某外評議員十余名其他一千字の會員合名內外來會（內二十余名は洋裝艶然たるハイカラ式なり）慶北會長金永奎の名を以て演說會開會の趣旨を四方に告示したり當日の演題は第一席四大綱領及び會員の經過せる情形に對する說明（李容九）第二席……に對して政府に忠告する說（尹甲炳）第三席……明の根本は教育なり此に對する說明（金振泰）第四席地方官吏が貪饕不法せる事に對する說明（朴林與）第五席生命財産に對する說明（宋秉畯）等にして他に金某氏の追加演說あり五時半頃無事演了閉會を告げたるが彼等は交る〲縱橫の辯を揮て極力政府及び地方政治の改善を痛論し或は生命財産の安固を絕叫し教育の必要を切言する等會々大に聞くべきものあり特に第五席に於て新任觀察使李容翊に對し冷嘲熱罵を加へたる如き地方に於ける司法稅務の獨立を說き當分日本司法官並に稅務官の傭聘を何とする旨を主張したる如き大邱道路の改良と子弟教育機關の急設を勸告したるが如き滔々大に聽衆を動かしたり當日我警官憲兵等現場を巡視し聽衆は凡そ六七百名に上りたるならん因みに同會員の重なるものは演說閉了後觀察府、郡衙、鎭衛隊、警務署等へ出頭し大に其弊政の改革を迫りたるやにて一兩日中一部會員を除き悉く歸京する筈也と

▲李容翊氏來任せ　一時果して來任如何やの說ありし當慶尙北道新任觀察使李容翊氏は意々赴任の外なきに至りたりと見へ一日の二番列車にて來着觀察使、代理郡守、鎭衛隊其他多數官民に迎へられ入城爲めに停車場附近は非常の雜踏を呈し一進會員の演說材料と迄なりたるが本日勸使と事務引繼を了し張前使近々上京宮內特進官の閑職に移らんとなり

▲秋風嶺火賊の後聞　秋風嶺地方火賊蜂起に關し同地方へ出張し昨夜歸署せられたる橫尾警部の談に據れば火賊等は一旦潰散せしも尚ほ所在附近に出沒其數約數百名に上り形勢不穩何日何地に蜂起するやも知れず爲めに同地方は大に恟々の狀なりと

▲興業會社大邱代理店　韓國興業會社は日外地に代理店を設けん計畫あるとは曾に報じ置きたるが昨日同社の支配人某末郎氏其用向きを帶び釜山より來邱せられたれば近々同社代理店の看板を第一銀行に掲げ銀行内にて營業開始を見るに至るべきが當分の貸金は壹千圓以下の小額は取扱はざる由因みに同社の資金は壹百萬圓よ……

朝鮮日報

半日の汽車旅行（其の三）（芳山と斗南）

●廊の背はなし●
●附たり美人と豊子が事●

……紛れりを（し）て走れり今は車窓の眺めも飽きぬ豊子は身をすくめて自分の傍に倚添へば美人は睦しげに芳山と並べ、芳山が得意の話「聞へ言ふ翁院（ひき）の山中にほら穴ありて金塊を蔵せりと何日の事か詳かならねど日本人来りて是れをおしらい若き僧侶其金塊を見付て持ち出さんとせしにあら不思議や数万の蜂何處よりか飛び来り其金塊を口に咬へて一片も残さず落東江に落し行けり」と語り終て吐息をつけば美人は其奇を瞑想するが如く豊子は惜しさうに「惜しかつたわ」

●美人別を惜で落涙●
●豊子歩を病で真に可憐●

三浪津にて自分等三人は車を下りぬ美人は大邱まで旅せんとて猶も止りき車窓に凭れて美人涙あり芳山およびに離愁の情豊子また愁を解せるに似たり車は嘶けり「左様なら御無事」見ねずなるまで別れを惜めり、一柳の影も縁あるものを「とは芳山の未練「いゝ方ねえ」とは豊子の述懐自分は幾度か顧望するのみ、夫より三浪津までは半里余豊子可弱く歩になやめり照け腐ぼくとして萎氣せまる落東江の左岸枯草わかく悲様身にしみておゝろ姑に哀婉自分は惜致極りて可憐の豊子を愛遊す

●三浪津の一夜●
●心なき隣室の酒宴●

三浪津の一夜ぞ面白けれ、互に沐浴して心寛やゝ宿の亭主は芳山の舊知、夫婦してある限りの款待をなせり、やがて酒肴はいへのへられぬ、豊子親しみ、へたてなく芳山快活にしてよく談せり浴後浅酌意中の佳人蓋をくみぬ天地融然自分は陶然として天國に入る豊子また盃をいなます繊嫋として痴情限りなし、折柄隣室人さはがしく杯盤の音手にとる如し酒興かうじて喧囂一しきり心なき人々かな、酒興逸し去つて不快の念むらくく豊子眉をよせて明眸うるく自分は豊子を拉して屋外に去る夜氣靄々として天地寂寥芳山主婦を呼で獨りよく談ずる事ョ

●亀屋の眺めは暁き●
●赤き山黒き山白き山●

朝はやく起きぬ宿雨霽れたれどけむる朦々洛東江の流れゆるやかにして脚底巨巌たつ扁舟白衣をのせて悠々として来るに任しつ雲の縫はしは似たる仮橋工事半ばにして且渓水にひゞく近し、して赤き……の端な

●大邱により●（四一）

◎奸商再見条嵐　當地に雑貨を營業とする再見条嵐なる者は濫發貨幣行使嫌疑者にて今猶は其筋に注目され居る程の悪漢なるが其罪を悔び改むる事なく只管私利私欲ふ汲々たる餘り又々容易ならぬ悪事を仕出かしたり當地に季參事なる韓人あり昨年十二月中同人より土地を抵當とし金二百圓を借受けたり然るに該金返却の際都合あり期限より三日丈經過したるに再見は右の所爲に烈火の如く憤り季を縱に毆打したる上違約金として金三拾圓を支拂ふべし然らざれば証書は永遠に返却せずとの不道理を擔ぎ出して無理難題を苦しめたり季如何に韓人と雖も斯かる不法の處置にろんなら違約金もとまで溫和は出さぬ……

●大商店訪問記（十一）

●村上貿易店（本町）
店主は明治十七八年頃迄は一船員として航海を業としたるが當港貿易の不振を慨し將要の地たに開店爾来今日の隆盛を爲せり記者の訪問に接して當港貿易業の不振は一致團体の組織に富まざる故と述べられ目下當港の器械ポンプ据付けに就て經費募集中の旨を述べられ夫より當港經濟界の發達を促すは今日の急務なりと喝破し耳を傾くるの說多かりき

●高野雑貨店（辨天町）
昨今は渡韓者の多き爲め制合に商品も捌ける方です最も當港小間物界を見渡すに是れどいふ特別に捌ける品柄もないかはり別に不足といふ品もありません當港の商店です（か）仕入れ先は大坂東京米國です米國からは月一回位の船便で仕入れて居ります店主は一見して機敏なる商人と思はれぬ

●大城商店（南濱町）
店主は酒々落々の人にして訪問を乞ふや快よく迎へらる……店では重に綿花製造と該品の販賣をやつて居りおります左様一日の製造高拾貫目に少し足りません販路は本郎、馬山浦方面です云々

●井岡舞（？）店（南濱町）

●大黑商店（入江町）
……田舍を引拂けて開業したのは……年の暮れで……した貫錢りがあつては困るだらうと余り文入れは致しませんでした……大阪から直に支入れたのですヤア靴を初めシヤチの様なものが當店の重要なる品目です云々店主は一見正直を以て實業界に馳騁する人と思はる

●藤井煙草店（本町）
……藥品乳鉱の和洋小間物を商ふ大黑商店を訪ふ店内壯觀を極め一見して東京の商店に比較するを得べし開業以來三四年にしかならん……皆様のお蔭で……實は當初の目的でなかつたのですが皆様の花籠めでやつて居ります今年は……御愛顧のそ思ふ通り……はなかつたですが寒も明けて參りましたから追々好望の期に向ひます……紙煙草の小使取から……て居る位で……本店の方なら又申し上ぐることもございませう……が當店の方は別に……の一二三兩月は例年不景氣の時ですが昨今渡韓者が多いので何うか聞に合つて居ります云々店主は一見溫厚の君子也

讀者文藝

百字文

●彼を想ふ　つゆ子
梅が香の梢に謡ふ爲の長閑けき春故郷戀馬の片田舍に不斗言交したるアノリボン何時まか解きし戀の糸身に染みくと染みし其時の楽しみ時の威奈何にありしか早月日は過ぎ戀ひ暮はれしも今は門田の落ち水と失せたる我

●兄さんの手紙　笹舟
戰地から兄様の手紙がくると家内中が打寄つて、そうしていつも僕が讀むのです、中途で聲が曇つて讀み切れないと、父上が御叱りなさる、其父上の兩眼が涙ぼろくする、床の間にかけてある兄様の寫眞は笑ふていらつしやる様です

都々逸（？）　萍六

▲梅句集（一）
添ふた記念に植へたる梅の咲て嬉しい客招く
軒の梅まで心を知つて返しともない袖を引く
思案つくく眺むる庭の
梅は蔵らぬ主の留守
一寸の油斷に主何處へやら散てしまうた梅戻り
軈て實になるよい辻占よ咲た浮名は梅見から

投書籠

▲京町に朝鮮政府の事業とは云ひ乍ら釜山税關事務の澁滯は二拾世紀商人の慨歎する

釜山商況

釜山商況（十錢男）
米穀類を始め百貨共商況凡て鈍調なり木綿織物は漸追々迫りたる取引至て薄し紡績糸も余り變動なし

魚市場（昨四日）

水揚高	八百四十圓六十八錢
たひ	十ゞ目 廿三圓
尼たぬ	同 十五圓
平め	同 十四圓
鰤	同 十二圓

寄（？）

▲當地で韓語を……生）▲本社に斯學の大通十萬居士（尋ね生）▲志望者は……を試まれよ（記者）▲不親切なる……にも驚くが其部署の不潔にも驚くの外なし……人公たる者が……を注がれたらようがんすね（漂客）▲韓人の香氣ちは一見して亡國の兆候を有せり外は長煙管に代表されて居る（傍觀生）▲郵便局の裏手海岸に顕はれる男女二人は宛然幽靈のようだ夜警の金棒に指へても失せる（不可思議生）▲待合亭の……投票数点者とはドェライネ（觀察者）▲……の部屋敷に何故白首を置かないかと聞ふたら此狹い座敷にスワルトバートルを据えられては堪りませぬと云ふた（十錢男）

……鹿でめ……當局者……文明的の紋鼠を振ふは如何だ（居留民全体）▲第一いろは樓の松吉姐……ンは人氣投票に素抜けたチー（氣毒生）

廣告

大坂慈善演藝會慈愛社寄附金廣告
金四圓也 ……上純益金參圓也……坂田與市殿▲金壹圓也青見条……殿重村京輔殿▲金拾錢……▲五十錢也……藤井……太郎殿
……計金壹百五拾七圓參拾錢

拙者事過日來京城地方ニ出張罷在候處本日歸釜從前之如ク業務ニ從事候也
三月三日
西町二丁目　女醫　淺海琴



日本郵船會社 瀛船釜山出帆廣告

仁川芝罘大沽牛莊行 日東丸 三月十一日

門司神戸大坂行 ヲハヨー號 三月六日

荷客取扱所 大池回漕店

同 回漕店

大阪商船會社 汽船釜山出帆廣告

木浦仁川鎮南浦行 琴平丸 三月七日

木浦仁川鎮南浦行 群山丸 三月九日

漢城號 三月五日 一月三十日

木浦群山行 肱川丸 三月十一日

馬山浦木浦群山行 義州丸 三月五日 一月三十日

馬關神戸大阪行 蒼龍丸 三月五日 一月三十日

バイキング號 三月九日 二月四日

嚴原長崎博多下關神戸大阪行 木浦丸 三月十二日

嚴原下關神戸大坂行 手取川丸 陽 三月七日 陰 午後十時出帆

元山行 義州丸 三月十一日 二月六日

沿岸線 元山行 蒼龍丸 全 三月十日 全 二月五日

仁川群山間毎週三回往復 瑞鷹丸

大阪商船株式會社

瀛船釜山出帆廣告

元山行 防長丸 三月六日

元山行 浦門丸 三月八日

荷客取扱店 三木回漕店 電話八三番

堀商會 瀛船釜山出帆廣告

木浦仁川鎮南浦行 京畿丸 三月七日 舊二月二日

慶尚號 三月十八日 舊二月十三日

木浦仁川元山行 慶寶丸 月 日 月 日

元山行 泰盛号 陽 三月五日 陰 正月三十日

正成丸 仁川群山間航海中

堀商會瀛船釜山代理店 本町海岸郵便局前 山川回漕店

池田汽船 仁川行 松前丸 陽 三月七日 陰 二月二日

元山行 幸光丸 全 三月五日 全 正月卅日

野村汽船 群山仁川行 寧靜丸 全 二月 日 全 正月 日

貫効丸 陽 二月 日 陰 一月 日

釜山港 荷客元扱 本町通海岸郵便局前 山川回漕店 電話一七八番

大川運輸株式會社 深川瀛船 釜山出帆廣告

定期連絡汽船 若津丸 嚴原唐津行(九州鐵道ニ連絡ス) 三月六日 午後六時 井上回漕店方

荷客取扱店 國中商店

八頭司船 釜山出帆廣告

萬歳丸 三月 日

山陽丸 但シ午后二時出帆 荷物ハ切午前十時 三月六日 馬山浦行

馬山浦丸 仁川行 二月 日

八頭司船舶部

大阪尼崎 瀛船釜山出帆廣告

下關神戸大坂行 神代丸 陽 三月八日 陰 月 日

第二 馬關神戸大阪行 崇敬丸 全 三月五日 全 月 日

仁川行 大有丸 全 三月六日 全 月 日

大池回漕店

荷客取扱店

錦龍丸 元山行 三月五日

瀛船釜山出帆廣告

第八 永田丸 陽 月 日 陰 月 日

世昌洋行瀛船 門司神戸大阪行 ダタマル號 二月

仁川鎮南浦行 スルヘルグ號 二月 月

門司神戸横濱行 [illegible]號 二月 月

釜山運輸組瀛船 第四 共同丸 元山行 三月五日

沖永回漕店 (電話貳百貳拾七番)

第四 共同丸 元山行 二月五日

第五 永田丸 月 日

釜山運輸組 (電話百二十七番)

世昌洋行汽船出帆廣告

門司神戸大坂行 ダクマル 三月 日 午後五時出帆

仁川灣行 スルヘルク 三月 日 午後五時出帆

世昌洋行汽船取扱店 サ 齊藤回漕部

廣告

御旅館並ニ御料理 附屬牛乳搾取販賣所 日本屋韓人樓 國内四季ノ花 大廳東門外 逢城館

會席御料理 仕出し 春日 西町三丁目(電一三二)

謹告

拙者儀て表具、建具、屏風、諸額面、掛軸、金銀箔置、表装營業致居候處各位の御愛顧により日に増し繁榮に赴き候段奉感謝候然る處目下の時局に鑑み所有之自今毎月收入金之内諸費を扣除し殘額は擧て之を陸海軍恤兵部に獻納以て聊か報國義務を盡さんとす希くは位生主の微衷を御洞察被成下多少に不拘御用命被仰付度候也

西町二丁目 陳列館正面通り 福村松旭堂

特別大安賣 まつち 此の外諸雑貨 本町三丁目 石川勝治商店

韓錢證票交換

韓錢證票交換の儀は既に期日を告ぐるも猶ほ遺漏なき樣致度爰に延期して本年三月卅一日迄交換を行ひ候證票所有の御仁は必ず右期日迄交換御申出有之度此段廣告候也

明治三十八年二月 京 西町一丁目 福田酒場

鐵道受負同業組合總代 福田増兵衛

三印 醤油 鳳・凰・龍・軍

醸造元 千葉縣銚子港濱口儀兵衛 釜山北濱通 水野巖商店

最上醤油元祖 宮内省御用達 第六號御指令

名譽金牌受領 聖路易萬國大博覧會

注意 韓國特約販賣元 釜山西町三丁目 廣田酒店

大樽入、一斗入、四合瓶詰アリ 近來奸商トモ盛ンニ偽物ヲ詰込販賣スルモノアリ御買求之節封印ニ御注目ヲ乞フ

統監御用 釜山牛肉所共製品 滋養牛肉ソップ販賣 南濱二十八番海岸通 一合代貳錢 平田秀吉

支那料理 東京そば 東庵

勉強御下宿 南濱二十八番地海岸通 伊豫屋

精白米廉價販賣 石炭米共 南濱町海岸通四ッ角 西原商店

唐津石炭 辨天町二丁目 電話一七 國安商店

丁寧親切 柳井旅館

株式會社 第一銀行 釜山支店 (電話一番)

資本金壹千萬圓 積立金百七十万圓 明治六年設立

本店 東京 支店出張所 京城 仁川 木浦 元山 平壤 開城 鎮南浦 群山 大邱

爲替取組先 ……

諸預リ金爲替貸金其他銀行一般業務多少ニ不拘御便利御取扱可申候

活版印刷 朝鮮諺文活字あり 迅速 廉價 鮮明 釜山西町一丁目郵便局裏 立志社

蜂印葡萄酒 血を増し肉を肥し胃を健にする滋養的飲料は本品に如くものなし

韓國一手輸入元 釜山幸町一丁目 合 齊藤商店 (電話番號一四四)

山西足袋發賣元 保險嚢大販賣 小間物化粧品類 其他雜貨日用品專利專賣 釜山西町三丁目

諸品卸問屋 明治屋

純良牛乳 配達迅速便利 富平町二十四番地 稻尾牛乳店

解雇廣告 坂本庄市 右之者都合ニヨリ解雇候ニ付自今弊店ニ關係無之此段廣告候也 西町三丁目 上西酒店

呉服太物類 野菜 京都産 其他野菜類 御入用の節は御高覧に預すべく候

葱

●京都産改良葱は白根斗りは致しあるによき幾日置くも腐敗日減等の患無之内地向きにして好適品に御座候目下京城大田大邱地方の御需に應じ毎日積出致居り○風味は馬關葱の比に無之商評を博し居候一度御試用被下度候

改良葱の特色

幸町三丁目郵便局前 松崎呉服店

材木建具廉價販賣 富平町精米所側 平松商店

磨擦米廉價販賣 富平町 岡本商店 (電話三拾一番)

寫眞撮影 釜山全景各數通其外寫眞韓人風俗 長手通辨天町 平井寫眞館

板材木廉價販賣 其他石灰竹瓦 南濱海岸 島末商店

青物乾物 砂糖麥粉 西町一丁目 遠藤商店

卷煙草 刻煙草 銘茶 宇治銘茶 各種石鹸 齒磨類 麻裏草履 卸小賣共大勉强 南濱小倉座前 紀 宇田商店

株式會社 第五十八銀行 釜山支店 (電話五十八番)

爲替取組先 東京 大阪 京都 横濱 名古屋 伏木 敦賀 富山 米子 尾ノ道 兵庫 神戸 姫路 網干 宇和島 柳井 岩國 舞鶴 萩 下ノ關 廣島 倉敷 門司 福岡 伊萬里 長崎 博多 唐津 京城 阿知須 防府 仁川 小郡

一般の銀行業務は精々御便利取扱可申候

大坂毎日新聞 一ヶ月代四拾八錢

萬朝報 一ヶ月特別大割引 三拾錢

幸町一丁目長手通 山口新聞舗

獣醫 富平町拾七番地 中尾祐作 電話四拾四番

吳服 太物 御召物新柄 各種品揃 釜山支店 電話七十二番

京城泥峴一號地ニ滞在シテ契約起案民刑訴訟等汎ク法律事務ヲ取扱フ

東京辯護士會 辯護士 皆川廣濟

東京 大慈本店製



ツバメ印 香竄葡萄酒

賣捌店 草梁大慈支店 釜山北濱 粟谷出張店 釜山本町 秋野店 仁川 土井

煙草製造販賣廣告

大日本政府專賣局ノ特許ヲ受ケ高級ナル日本葉煙草ヲ輸入シ多年練磨ノ技術ヲ以テ高尚優美ナル刻煙草紙卷煙草ヲ製造シ業相營ミ專ラ勉強ヲ旨トシ發賣仕候ニ付多小ニ不拘御購買ヲ願上候

紙卷煙草ノ部

●旭の煙 二十本入 定價金六錢

●文明 二十本入 定價金五錢

●鳳凰 二十本入 定價金四錢

刻煙草ノ部

●高尚優美特製旭の煙文明各種

●旭の煙紙入包紙入各種

其他紙卷煙草刻煙草各種玉造ハ御注文に應シ特製可申上候

京城 韓國製造元 日韓煙草商會

官烟 官烟民製卷刻煙草類各種 宇治銘茶 煙草問屋 便利御仕入所 卸小賣大勉強 内山商店 (電話一五六番)

寫眞 各種 南濱通 日朝寫眞館

家屋は新築清潔ヨ 眺望は風光明媚ヨ 勉強旅館 取扱は親切丁寧に 京釜鐵道沿線 三浪津河岸 龜屋

●東京御料理 麥とろ あそび 南濱海岸通り (電二四四)

●釜山天氣豫報 北又西の風